

next stage! 新たな地平へ飛び出します



大学より by 川辺悟史さん

七里が丘子ども若者支援研究所は6年目です。昨年5/4いじめ不登校解決市民サミットを終え、一区切りと会員募集を止めエンディングへ…ところが応援団会議は発信型の“自分ごと講座”を始めることを8月に決定。同時期に鎌倉フリースクール Largo(ラルゴ)設立の協力要請を研究所は受けました。来る4月22日(日)午後建長寺にて開設記念イベント「きみの笑顔が見たい」を行います(別添チラシ参照)。

自分ごと講座は10月岩室紳也医師、3月林恭子さん他に講演会として開催。中心で担った新舛秀浩さんが“ひきこもり発信プロジェクト”を独自に3月に立ち上げ実施。涌井貴暁さん:マジスティックは逗子 cocolo の会や鎌倉 Largo 協力と子ども若者数名の寄り添いを進め、龍崎明信さん:リトルエジソンはロボコン第3集発行から次を考え中。高島智子さん、町内会を超えた地域密着の学習支援たすき塾は子ども12人と7年目に入りました。番外編ですが、高比良秀一さんは母和枝さんと共に今年またジャズコンサート開催を予定、楽しみです。書道教室主宰の長谷川ひろみさんは地元衣笠桜祭りで書道パフォーマンス(3/31)、今秋9月スイスジュネーブ国連欧州本部で“絆”展示開催、なんと2020年オリンピックへも💖 市民代表の小幡沙央里&加藤裕介さんも奮闘中🍀 日々の葛藤を含め会員の皆さま方の活躍は数多ありまして、応援団会議収拾できる状態ではなくなっていました(笑)。そこで5年の応援団会議は卒業! 新たに3地区応援団会議がスタートします。別紙ご覧ください。

不登校・ひきこもりは人生選択の一つ



3月の応援団会議(15人)は林恭子さんを招いた“自分ごと講座3/4”の振り返り、子ども若者そして親・家族の現実を語り合う深く本質を問う会議となりました。不登校・ひきこもりで“人生のルールを外れる(涌井さん)”“社会から撤退する(新舛さん)”と否定的にとらえざるを得ない現実。「学校は行くべき」「仕事はすべき」と“べき”が社会圧として子ども若者を追い込み、責任探しが親・家族をさらに追い込む。不登校・ひきこもりは人生ある時の“選択”と“状態”、人の人生が様々存在する様に。結果生きづらさゆえ、「社会圧に抗わず真面目に優しくひきこもる」選択をすれば、必要な時間を得てその先に当然のように未来がやって来る。ベテラン島根さんは「ルールは自分で引く」、キャプテンリカ俳優やEXILEを引用し「僕をひきこもりが“卒業”していく」と龍崎さんは丁寧に語りかけた。その先の選択を6年目応援団会議へ期待して下さい。(滝田衛)

林恭子さん (UX 会議代表理事) ひきこもる・心を・理解する講演会

3月4日(日)逗子市商工会議所で第2弾“自分ごと講座”が行われ100人を超える方々に参加いただきました。林さんはひきこもりの当事者として次のように語りました。要約です。

「学校に違和感を持つ…、自分がおかしい？ すると高校で不登校、大学は2週間で中退、絶望しました。母の『私の言うことを聞いていけば間違いはない』と過ごしていた私は20歳すぎ母とバトル、遅れてきた思春期でした。結果ひきこもり昼夜逆転生活、『明日こそは起きよう』と思っても起きられない、自分を責め続け36歳まで20年間。絶望は深まります。

普通の人には地上で生きている、私は地下で生きている。火に焼かれる熱さ。「誰だって大変なんだ」はこっちの世界の話。ひきこもる人々は哲学的な問いを日々し、「とりあえず散歩！」に意味はありません。世界で一番ダメな私は外には出られないのですからです。



ひきこもりの人には本気の言葉しか伝わりません。心配されていることは分かっています。だから親には自分の人生を生きて欲しいと思っています。親には旅行に行っていて欲しい、3週間くらい！ 家の中が居心地良いことが一番、NGワードは「結婚」「これからどうする」「お父さん定年」、分かっていますから。安心感は一歩前に出ることにつながり、「すべき」は不要です。

「して欲しいこと？」を聞いて条件はつけずやってください！ 「できない」は言ってください！！

就労支援は、戦場で傷ついた兵士(ひきこもり)を野戦病院(サポステ)で治療(支援)する違和感と支援する・される側の上下関係の問題もあります。支援とは“幸せな生き方”なのです。必要なことは当事者に聴いてください。ひきこもり女子会の全国ツアーをやって1500人以上が参加してくれています。その人をありのままに肯定する場が必要です。先日は表参道の女子会で合コンをやって盛り上がりました(笑)、生きていていい、その先は自分でやっていくのですから。来年は日本財団の助成金が出て全国36か所で女子会を行います」(文責:滝田衛)

コラム風 ○ 3月27日(火) 鎌倉市ひきこもり支援講演会は定員60人を超え盛況でした。松尾崇市長さんも明石紀久男さん(インクルージョンネットかながわ)の講演を聞いて頂き、2部では明石さん & 岩本真美さん(K²インターナショナル)と司会:滝田が20年来の仲で傍若無人に「ひきこもりの社会背景」「支援の具体」を交流しました。会員の新舛さんも逗子から参加、「明石さんの『求められることに付き合う』ことになってしまうひきこもりの特性のお話が印象的でした。僕も不登校ひきこもり経験から再び社会に戻った時、もちろん今でも『人にどう思われるのか』にとらわれ、自分がどうしたいのかより相手はどうしてほしいのか、どういう言動が正解なのかを意識しています。鎌倉市は4課と民間がひきこもり支援連絡会を構築しつつあります。

○NPO 法人アンガージュマン・よこすか理事が滝田を卒業します。スタッフ・理事に感謝です。

4月予定 ○8日(日)午後2時～ 横須賀応援団会議・MJ&LE:横須賀市民サポート活動センター

○14日(土)Largo 女子会 ○22日(日)午後1時～ 鎌倉応援団会議・Largo 建長寺「きみの笑顔が見たい～不登校の『その先』～」 ○29日(日)午後1時～ 逗子応援団会議・ひきこもり当事者プロジェクト:逗子市民交流センター

◎Largo 3日(火)、10日(火)、12日(木)、17日(火)、28日(土)

◎鎌倉市相談センター3日(火)、6日(金)、11日(水)、13日(金)、18日(水)、19日(木)、20日(金)、24日(火)、27日(金) ◎研究所相談4日(水)、9日(月)、12日(木)、16日(月)、23日(月)

【発行編集:滝田衛】 携帯:09072124055 メール:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp

ホームページ:<http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>